

～はしがき～

本論文集は、4部から構成されています。

第1部は、都市社会文化研究科博士前期課程の王蓓さんによる修士論文の要旨と参考文献リストです。日常生活で若者に多用されている「なんか」にかんする考察です。日常生活でどれだけ頻繁に「なんか」を使っているかを身に染みて感じる2年間でした。意欲的な修士論文が出来上がりました。

第2部は、国際総合科学部社会関係論コース7名、人間科学コース1名からなる「コミュニケーション論演習」卒業生8名の卒業論文要旨と参考文献リストです。友人や後輩ゼミ生を巻き込んでデータを集める研究スタイルの人が多く、勢いのある学年でした。生のデータを使っているからこそその面白みのある成果が出ました。それぞれがご希望の場所で新たな生活を始められることをうれしく思っています。健康に留意しつつ大きくのびのびと羽ばたいてください。

第3部は、3年生の個人研究論文です。深く思考することのできる人たちがお互いに学び合いながら研究を進めています。本論文集に収録されているのは個人の成果ではありますが、その背後に8人分8倍以上の学びをしているのではないかと感じています。この調子で卒論の研究も進めることを期待しています。

第4部は、2年生のグループ研究論文です。研究テーマを決めるところから一つ一つのプロセスで立ち止まり悩んでの連続でしたが、思いのほか（失礼！）面白い研究に仕上がりました。まだまだ深めていく可能性を秘めた研究テーマです。今回の経験を3年生での研究に活かしてください。

2017年3月

佐藤響子

横浜市立大学国際総合科学部

連絡先：横浜市立大学国際総合科学部 佐藤研究室

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

ksatoh@yokohama-cu.ac.jp

～目次～

第1部 修士論文要旨・参考文献

- 日常会話における「なんか」の不可欠性：フェイス・ワークの観点から 王 蓓 2

第2部 卒業論文要旨・参考文献

1. 日常生活における伝わりやすい話し方とは 伊形美可子 8
2. 盛り上がる会話とは：初対面の自己開示を切り口にして 片山佳余子 11
3. 若者による電子メールとLINEの「使い分け」の実態を探る：大学生へのアンケート、
インタビューの分析と考察 加藤香穂 14
4. おかしづくりのデモンストレーションをプロらしくするにはどうしたらいいのか 近者佑香 17
5. スタジオ・ジブリ映画の男性像と女性像を探る：恋愛作品を中心に 清水桃子 21
6. 効果的にユーザーに情報を伝えることのできるWebコンテンツとは 丹治宣登 24
7. 相手に説得力を感じさせる話し方とは：ディベート場面の分析による考察 西村圭史 26
8. 時代による結婚観の変化：恋愛ドラマを通して 堀口眞穂 30

第3部 3年生個人研究

1. 人を惹きつける上手な話し方：水ト麻美アナウンサーのグルメリポートから 近藤麻依 34
2. LINEのスタンプが果たす機能 櫻井萌瑛 43
3. ヒット曲からみる女性像：1950年代から現代のラブソングを中心に 佐藤晶穂 58
4. 翻訳絵本から読み解く日本語と英語の表現比較と文化の相違 高村晴香 64
5. 女性誌『VERY』における「主婦像」の変容 足沢優佳 73
6. 洋画の字幕翻訳：文化的要素を含む意識のメカニズムと特徴 張 凡 84
7. 若者の方言使用とコミュニケーションの関係性：沖縄方言を通して 山城金太郎 92
8. 新聞の「夫婦別姓」報道にみられる日本の家族観 渡辺愛梨 100

第4部 2年生グループ研究

1. 方言使用に影響を及ぼす社会的イメージとジェンダー
..... 佐々木聖恵・庄司遥香・平川生純・松村涼 110
2. 話し言葉と書き言葉における「あ」の使用の差異とそこに見られる話者の意識
..... 追久保佳奈、笹島史登、辻 七海、勝川沙友里 116